

夢のかけはし

毎日楽しく、
笑顔で前向きに



昭和24年生まれ。浜田町在住。高校卒業後は、名古屋の旅行会社でバスガイドとして2年間勤務。鹿屋へ戻り、28歳のときに介護の職に就いて以来、介護の仕事を続けている。趣味は介護の仕事と話すほど、現在の職を楽しんでいる。(69歳)

介護の仕事は私にとって天職で、これほど楽しい仕事はないと思っています。

私は日頃、デイサービスの管理者として働いています。管理者という立場ではありませんが、日中に事務作業をする時間はあまりなく、利用者の方と過ごす時間がほとんどです。休みの日でも職場に来て、利用者の方と会話をしたり、レクリエーションをしたりして毎日を楽しんでいます。

一方、デイサービスが休みの日は週に一日ほど、介護やレクリエーション等に関する講演・セミナーに講師として呼んでいただき、公民館やサロンでお話をさせてもらっています。内容は健康や

医療、日常生活のことなど様々。その場の雰囲気を見てから話す内容を決めていきます。楽しんで聞いてもらえるように常に心掛けていますが、一番楽しんでるのは私かも知れません。それほど講演やセミナーは楽しいものです。

最近では、私と近い年代の方に話す機会も増えてきました。以前よりも、同じ目線に立つて介護の話をすることができるようになったかなと思います。

私が介護の仕事を始めたのは28歳のとき。元々、人のお世話をするのが好きで、介護職に興味がありました。その後、40歳くらいのときにレクリエーション・インストラクター、福祉レクリエーション

高齢者セミナーの人気講師

まつ ぞの 松園 夕三子 さん

ン・ワーカーの資格を取り、レクリエーションを教えるようになりました。参加された方が楽しんで笑顔で帰られると、私も元気をもらいます。

現在、101歳になる父と2人で暮らしています。父は今でも一人で畑仕事をしています。刈払機を使うことも。父や利用者の方を見て思うのですが、好きなことを好きなだけやるのが、元気の秘訣かも知れませんね。

これからも体力の許す限り、大好きな仕事や講演・セミナーを続けていきたいと思っています。皆さんが明るく元気に生活できるように、少しでもお手伝いができればうれしいです。



【右】101歳のお父さんと、自宅近くの畑で仲良く笑顔の一枚。

【左】デイサービスでのレクリエーションの様子。この日は敬老会で披露するダンスを練習し、利用者と一緒に楽しんだ。

10月15日(火) 9時5分から FMかのや に 松園 夕三子 さんが出演